



学校だより

令和6年 4月 26日

No.2 4月号

横浜市立瀬谷第二小学校

校長 山崎 由美

学校教育目標

友情わく かわく 希望わく 毎日わくわくする学校



考える子どもになるために

校長 山崎 由美

昨年度末、教職員に“瀬谷第二小の子どもたちの目指す姿”というアンケートをとりました。30人以上の教職員から回答を得た内容を集約すると次のようになります。

人に流されず自分で考えられる 行動できる子 ちゃんと判断する
表現する子 相手を思いやることができる 諦めずに粘り強く取り組める
自分から主体的に動ける 他者を受容できる

この言葉から、“自分”に関することと“相手”に関すること、そして最終的には相手を意識しながら行動を起こす“社会参加の姿勢”への期待が読み取れます。そこで、これから目指していく子どもの姿を

- 自分で考え、判断し、行動（表現）できる子
- 他を受容できる子

とまとめました。

この姿に向けて、4月の初めに1年間の学びの流れを“今まで通り”ではなく“目指したい子どもの姿から”学年ごとに考えました。子どもたちに任せられる場、自己決定・自己選択の場、かかわりあう場など、意図をもって設定しました。今年度は今まで以上に各学年でやってみたいことを実現していきます。さらに、始業式で“今年頑張りたいこと”という話を4つのキーワード（考える・決める・行動する・かかわる）で子どもたちにも話をしました。職員の意図を子どもたち自身にも意識し、行動してほしいからです。

令和6年度は始まったばかりですが、この大きな目標に向かって教職員と子どもたちは動き始めました。ここに保護者と地域の皆様の力が加わることで、さらにパワーアップします。「自分で考え、判断し、行動できる子」「他を受容できる子」に向けて、学校は様々な手立てを考えていきます。保護者・地域の皆様にもご理解いただき、ご協力をよろしくお願いいたします。

☆瀬谷第二小学校ホームページに、日々の学校の様子を、「わくわくレポート」として不定期でアップしています。合わせてご覧ください。

